

直撃!

新人美女議員

自民党大沼みずほ

参院議員

「シンクタンクの研究員時代、民主党政権の連舫行政刷新相の下で事業仕分け作業に携わりまし

た。彼女が『2番じゃダメですか』と言ったとき、すぐ後ろにいたのです。民主党は『予算を見直せば財源を



おおぬま・みずほ 1979年生ま 館に勤務)や、東京財団上席研究員、  
れ、34歳。山形市十日町在住。慶應義 内閣府上席政策調査員を経て、201  
塾大学法学部・同大学院を修了後、N 2年に自民党の公募に挑戦。翌13年7  
HKに入局。温泉偽装事件などを取材 月の参院選山形選挙区で初当選した。  
する。外務省専門調査員(香港総領事 家族は夫と娘。

検出できる』と言いましたが、結局は、思い切った改革もできず、外交関係でも大きく日本の国益を失わせました。私

「まずは経済の成長」

は?

「私は団塊ジュニアで、高度経済成長時代が転換期を迎え、就職などで非常に苦労した世代です。『もっと国をよ

を作り直したい。世界に誇れる日本、世界に誇れる山形を作りたのです」

「選挙期間中、私はずっと『成長なくして分配なし』と訴えてきました。経済が成長しなければ、何も始まりません。政治家の使命とは、国民の生活を豊かにすることです。所得倍増計画を作り、日本をOECD(経済協力開発機構)加盟入りさせた池田勇人元首相を手本にしたいです」

「選挙期間中、私はずっと『成長なくして分配なし』と訴えてきました。経済が成長しなければ、何も始まりません。政治家の使命とは、国民の生活を豊かにすることです。所得倍増計画を作り、日本をOECD(経済協力開発機構)加盟入りさせた池田勇人元首相を手本にしたいです」

(安積明子)